

科目区分	専門分野	科目名	診療補助技術Ⅱ (与薬)	対象学生	第1学年		
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学期	第2学期		
担当講師	田所 正春(臨床経験8年、教育経験12年)						
科目目標	1. 診療の補助における看護の役割を理解する。 2. 与薬を受ける患者の看護を理解する。 3. 診療補助技術を習得する。						
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>第1回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 与薬の基礎知識 薬物動態、注射指示の流れ 6Rの確認 <p>第2回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 与薬における看護師の役割 薬の管理(毒薬、劇薬、麻薬、抗がん剤)、麻薬取り扱い時の注意、抗がん剤曝露の経路と急性中毒の症状、抗がん剤曝露防止の方法 <p>第3回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 経口与薬、口腔内与薬の援助方法の基礎知識 経口与薬、口腔内与薬の援助の実際 <p>第4回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬の援助の基礎知識と実際 <p>第5回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 注射の基礎知識(技術の概要、注射法の長所と短所、注射法の種類、注射筒と注射針) 皮下・皮内・筋肉内注射の実施法(目的・適応、注射選択部位) </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>第6回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 皮下・皮内・筋肉内注射の実施方法 アンプル、バイアルからの薬液の吸い上げの方法 <p>第7・8回 注射器の準備・アンプルからの薬液の吸い上げ、筋肉内注射の実際(演習)</p> <p>第9回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 静脈内注射(ワンショット・点滴静脈内注射の概要、目的、注意点、注射部位の選択) 輸液速度の調整(自然滴下) <p>第10回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 輸液療法を受ける患者の看護 点滴静脈内注射(翼状針による点滴静脈内注射の実施方法) <p>第11回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 輸液ポンプの実施方法 点滴静脈内注射による混注 <p>第12・13回 点滴静脈内注射の準備、実際(演習)</p> <p>第14回 輸血を受ける患者の看護(講義)</p> <p>第15回 まとめ、終了試験</p> </td> </tr> </table>					<p>第1回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 与薬の基礎知識 薬物動態、注射指示の流れ 6Rの確認 <p>第2回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 与薬における看護師の役割 薬の管理(毒薬、劇薬、麻薬、抗がん剤)、麻薬取り扱い時の注意、抗がん剤曝露の経路と急性中毒の症状、抗がん剤曝露防止の方法 <p>第3回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 経口与薬、口腔内与薬の援助方法の基礎知識 経口与薬、口腔内与薬の援助の実際 <p>第4回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬の援助の基礎知識と実際 <p>第5回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 注射の基礎知識(技術の概要、注射法の長所と短所、注射法の種類、注射筒と注射針) 皮下・皮内・筋肉内注射の実施法(目的・適応、注射選択部位) 	<p>第6回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 皮下・皮内・筋肉内注射の実施方法 アンプル、バイアルからの薬液の吸い上げの方法 <p>第7・8回 注射器の準備・アンプルからの薬液の吸い上げ、筋肉内注射の実際(演習)</p> <p>第9回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 静脈内注射(ワンショット・点滴静脈内注射の概要、目的、注意点、注射部位の選択) 輸液速度の調整(自然滴下) <p>第10回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 輸液療法を受ける患者の看護 点滴静脈内注射(翼状針による点滴静脈内注射の実施方法) <p>第11回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 輸液ポンプの実施方法 点滴静脈内注射による混注 <p>第12・13回 点滴静脈内注射の準備、実際(演習)</p> <p>第14回 輸血を受ける患者の看護(講義)</p> <p>第15回 まとめ、終了試験</p>
<p>第1回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 与薬の基礎知識 薬物動態、注射指示の流れ 6Rの確認 <p>第2回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 与薬における看護師の役割 薬の管理(毒薬、劇薬、麻薬、抗がん剤)、麻薬取り扱い時の注意、抗がん剤曝露の経路と急性中毒の症状、抗がん剤曝露防止の方法 <p>第3回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 経口与薬、口腔内与薬の援助方法の基礎知識 経口与薬、口腔内与薬の援助の実際 <p>第4回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬の援助の基礎知識と実際 <p>第5回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 注射の基礎知識(技術の概要、注射法の長所と短所、注射法の種類、注射筒と注射針) 皮下・皮内・筋肉内注射の実施法(目的・適応、注射選択部位) 	<p>第6回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 皮下・皮内・筋肉内注射の実施方法 アンプル、バイアルからの薬液の吸い上げの方法 <p>第7・8回 注射器の準備・アンプルからの薬液の吸い上げ、筋肉内注射の実際(演習)</p> <p>第9回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 静脈内注射(ワンショット・点滴静脈内注射の概要、目的、注意点、注射部位の選択) 輸液速度の調整(自然滴下) <p>第10回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 輸液療法を受ける患者の看護 点滴静脈内注射(翼状針による点滴静脈内注射の実施方法) <p>第11回 薬物療法を受ける患者の看護(講義)</p> <ol style="list-style-type: none"> 輸液ポンプの実施方法 点滴静脈内注射による混注 <p>第12・13回 点滴静脈内注射の準備、実際(演習)</p> <p>第14回 輸血を受ける患者の看護(講義)</p> <p>第15回 まとめ、終了試験</p>						
評価方法	筆記試験、課題レポート						
テキスト	系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院 系統看護学講座 臨床看護総論 基礎看護学 医学書院 看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術 メヂカルフレンド社						
講師からのメッセージ	形態と機能、疾病・治療論、病態治療学、栄養学、薬理学の学習内容を復習し、授業に臨む。 講義・演習において注射針の取り扱いは教員が必ず立会い、学生同士の注射針の直接刺入は禁止する。 注射法の技術は、模型や注射シミュレーターを使用して安全で正確な技術を習得する。 国家試験出題基準を確認し学習すること。						